



ヒロハナライシダ	<i>Leptorumohra sinomiqueliana</i> (Ching) Tagawa	絶滅危惧 I 類
(環境省:絶滅危惧 I B類)		オシダ科
選定理由	産地が限定されているうえ、生育地が人の生活領域に含まれているため、環境の変化による種の存続への圧迫に絶えずさらされている。	写真(荻山恒弘)
形態の特徴	常緑性のシダ。根茎は長く横走り、葉柄は褐色から紫褐色をおびる。鱗片は少ない。小羽軸の表面は毛が密生する。	
生態的特徴	山林中の林床に生育する。	 
分布状況	本州(中部と近畿の一部)・九州中部に分布する。岐阜県では県南中部に生育地がある。	
減少要因	集落に近い山林に生育しており、開発の対象になりやすい。	
保全対策	生育地や周辺地区の山林開発を控える。	
特記事項		
参考文献		

文責:村瀬正成